

## ACCESS



▼片平キャンパス構内図



### バス

【仙台駅前11番のりば】(仙台市営バス)  
靈屋橋・動物公園経由緑ヶ丘三丁目行  
靈屋橋・動物公園・日赤病院経由八木山南団地行  
東北大正門前バス停下車(約10分、180円)  
【仙台駅前12番のりば】(宮城交通バス)  
靈屋橋・動物公園・西の平経由 長町南駅・長町(宮)行  
東北大正門前バス停下車(約10分、180円)

### タクシー

仙台駅西口から約10分

東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1

エクステンション教育研究棟 6階

TEL:022-217-6265 FAX:022-217-6266

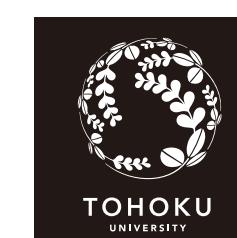
E-Mail:rirc@econ.tohoku.ac.jp

<http://rirc.econ.tohoku.ac.jp/>

# Regional Innovation Research Center 2014

Graduate School of Economics and Management, Tohoku University

東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター 2014



MESSAGE

イノベーションの実現を通して東北地域の発展に貢献する

2011年3月の東日本大震災直後から被災地の社会的インフラ復旧に伴う建設関連事業に牽引され、被災3県では一時的に空前の人手不足が続いています。しかし、3年後、5年後もこうした一時的な特需が続くことはありません。また、秋田県などでは工場の閉鎖や縮小が相次ぐなど地域雇用は依然として厳しい状況が続いている。こうした東北地域の産業経済の問題を解決するためには、新たな産業を育成し定着させるための斬新な経済政策や地域経済を担う中小企業のビジネスモデルの革新が不可欠ではないでしょうか。

そこで地域イノベーション研究センターは、中長期的な視点から東北地域の経済・社会に関する調査研究を踏まえた様々な政策を提言し、地域経済・社会をリードできるプロデューサー(革新的な事業家)を育成し彼(女)らの事業イノベーションを支援することによって東北地域の発展に貢献したいと考えています。

地域イノベーション研究センター長 経済学研究科教授 藤本 雅彦

## Contents

新しいステージへの飛躍	03~05
【地域の調査研究】	
地域産業復興調査研究プロジェクト	06~07
地域発イノベーション調査研究プロジェクト	08
地域中小企業景況調査	09
【地域の人材育成】	
地域イノベーションプロデューサー塾	10~11
みやぎ県民大学開放講座	12
関西起業塾	12
【広報活動】	
国内での活動	13
海外向けの情報発信	13

# 地域イノベーション研究センターの設立

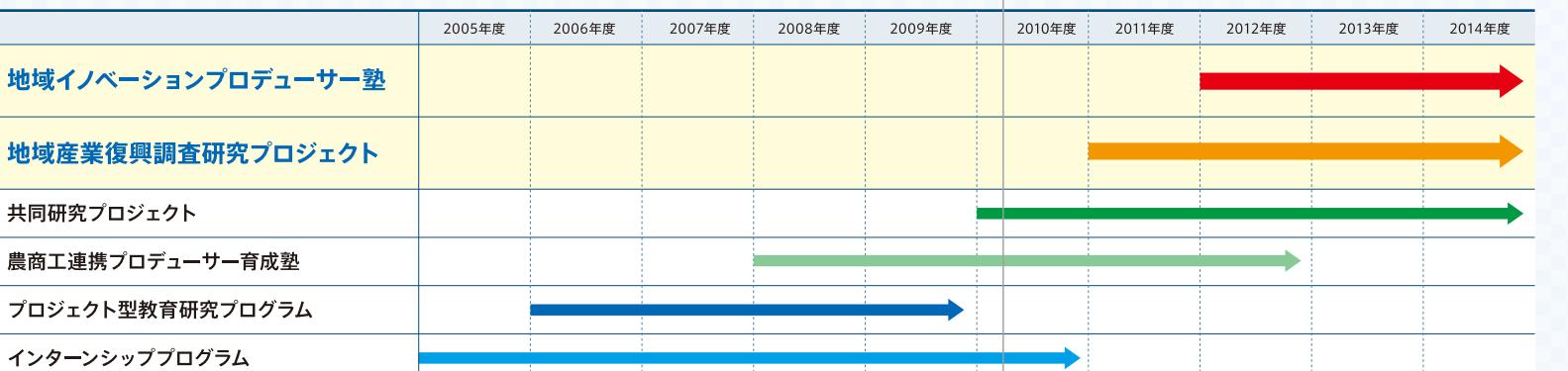
東北の革新のために。



STAGE.1  
2005.07



## 活動実績



## 新しいステージへの飛躍

### 事業内容

- 地域イノベーションに関する研究の推進
- 地域イノベーションに関する教育の推進
- 地域イノベーションを牽引する指導者的人材（地域プロデューサー）の育成
- 地域イノベーションに関する情報交流の推進
- 委託研究、寄附講座、共同研究の受入



STAGE.2  
2011.03

# 東日本大震災の発生、 復興への貢献

未来への確信のために。

震災復興の中長期的な視点からの支援を目的として、東北地域の産業復興に向けた地域産業復興のグランドデザインを様々な学問的知見を総動員して取りまとめていきます。継続的にフィジビリティスタディを行い被災地からの政策提言や情報発信をするとともに、2012年度より地域企業の幹部や次世代経営者を対象とした、東北地域の産業復興に貢献できる革新的プロデューサーの育成事業を実施しています。

3.11以後へ、東北から世界へ、次代へ

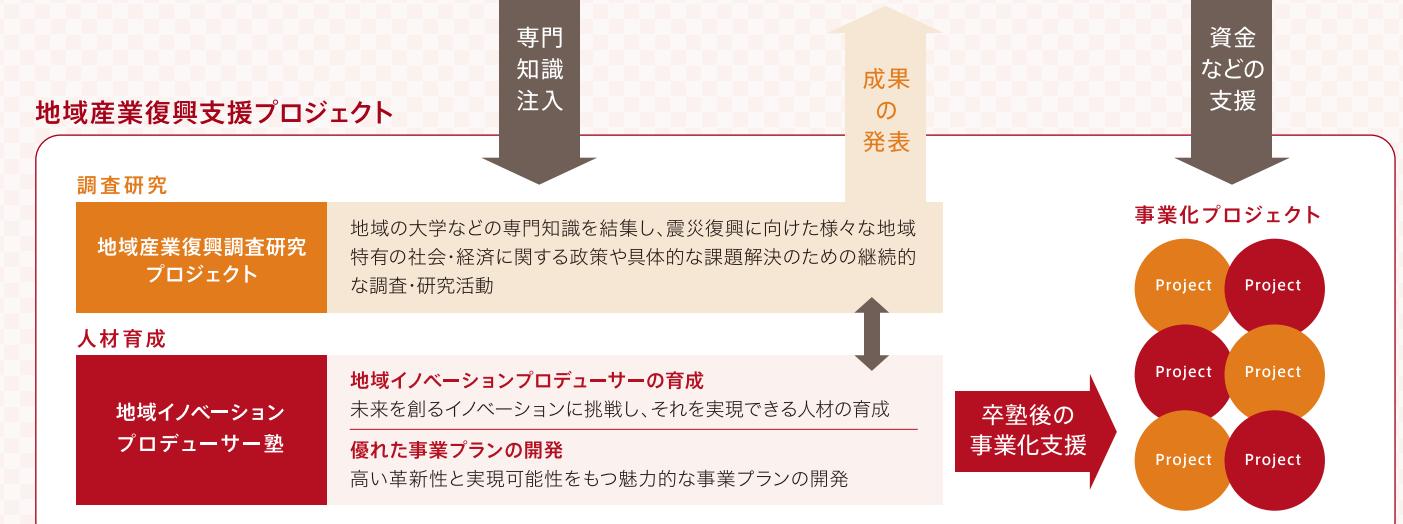


東北大は、東日本大震災の被災地域の中心にある総合大学として、東北復興・日本再生を牽引するエンジン・原動力となるため、2011年4月に「東北大震災復興新生研究機構」を設立しました。3つの基本理念に従い、機動的運営と全学からの積極的参画を得て、8つのプロジェクトに取り組んでいます。

- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| ■ 災害科学国際研究推進プロジェクト         | ■ 東北マリンサイエンスプロジェクト |
| ● 復興・地域再生への貢献              | ■ 地域医療再構築プロジェクト    |
| ● 災害復興に関する総合研究開発拠点形成       | ■ 放射性物質汚染対策プロジェクト  |
| ● 分野横断的な研究組織で課題解決型プロジェクト形成 | ■ 環境エネルギープロジェクト    |
|                            | ■ 復興産学連携推進プロジェクト   |
|                            | ■ 情報通信再構築プロジェクト    |
|                            | ■ 地域産業復興支援プロジェクト   |

東北大大学院経済学研究科(地域イノベーション研究センター&震災復興研究センター)

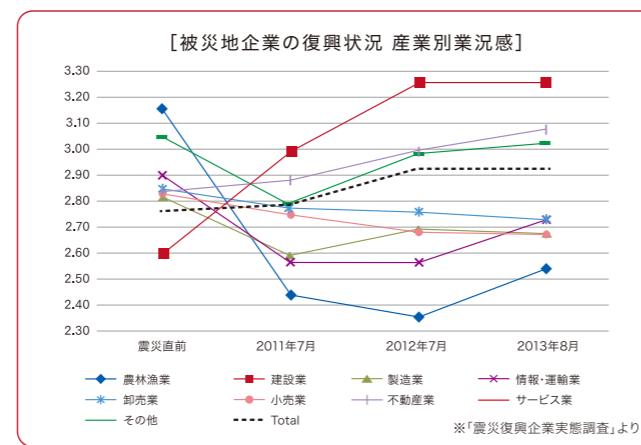
地域産業復興支援機関(大学、地域経済団体、行政・自治体など)



イノベーションによる東北地域産業・社会の復興

# 地域産業復興調査研究プロジェクト

本プロジェクトは、東日本大震災からの復興過程の現状と課題に対して学問的知見をもとに調査分析に取り組み、地域において産業・社会を再構築するための新たなモデルの構想や政策提言を行う等、被災地から情報発信を行うことを目的としています。プロジェクトでは、被災地の中心である仙台市に立地する大学の研究者を中心に、広く域外の大学・研究機関等からの参画も得て、国の機関、地方自治体、東北地域の財界・シンクタンク、民間企業等との連携と協力のもと、2012年度から5年間にわたる本格的な調査研究として、新たな産業・社会の形成による東北地域の復興に向け、様々な課題解決に取り組んでいます。



## 震災復興研究センター

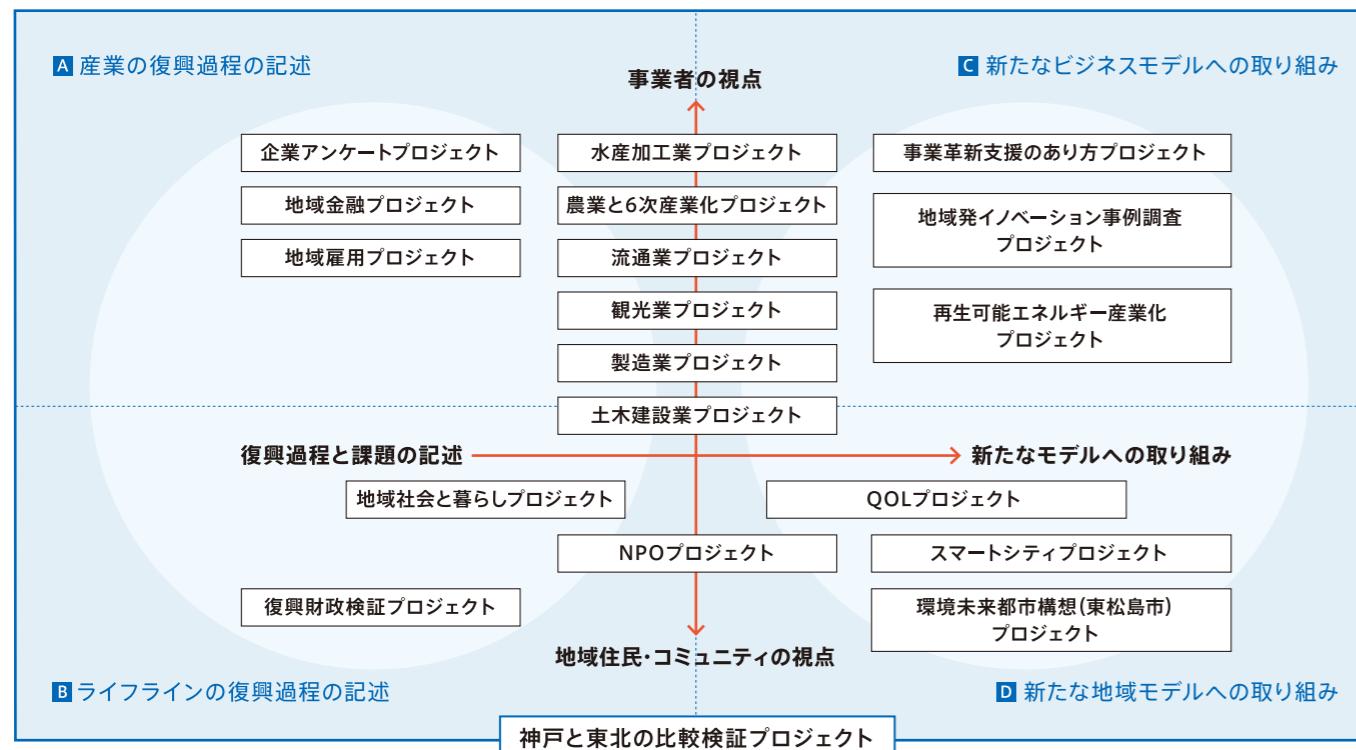
震災復興研究センターは、2011年4月に地域イノベーション研究センター内に設立され、本プロジェクトの実施とともに、学内組織である災害科学国際研究所や学外の諸団体・学協会等と連携した研究活動を進めています。

震災復興研究センター長 経済学研究科教授  
増田 聰



## プロジェクト構成図(2014年度)

本プロジェクトは、復興の進捗状況と地域主体の視点を踏まえたテーマごとのサブプロジェクトから構成されています。2014年度は企業アンケート等の継続調査のほか、新たな調査テーマを加え19のサブプロジェクトを実施する計画です。



## 地域産業復興調査研究シンポジウム

震災復興政策の検証と新産業創出への提言 — 広域的かつ多様な課題を見据えながら「新たな地域モデル」を目指す —



[仙台開催]

日時: 2013年11月2日(土) 10:00 ~17:00

場所: 東北大大学片平キャンパスさくらホール

[東京開催]

日時: 2013年11月21日(木) 14:00 ~17:30

場所: 大手町フィナンシャルシティサウスタワー

3階カンファレンスセンター

主催: 地域イノベーション研究センター、震災復興研究センター  
共催: 公益財団法人経和会記念財団

2013年度調査研究の中間報告と位置づけ、被災地企業に対する大規模アンケート調査および東北地域の主要産業や社会生活に関する調査プロジェクトの成果を発表しました。

## 書籍

調査研究の成果を書籍として刊行し、震災復興の現状と提言を発信しています。



第1巻

東日本大震災復興研究 I

河北新報出版センター(2012年3月)

東日本大震災からの地域経済復興への提言  
— 被災地の大学として何を学び、伝え、創るのか —

第2巻

東日本大震災復興研究 II

河北新報出版センター(2013年3月)

東北地域の産業・社会の復興と再生への提言  
— 復興過程の現実に向き合い、地域の可能性を探る —



第3巻

東日本大震災復興研究 III

河北新報出版センター(2014年3月)

震災復興政策の検証と新産業創出への提言

— 広域的かつ多様な課題を見据えながら  
「新たな地域モデル」を目指す —

### 【主な内容】

- ▷ 第一部 震災復興企業実態調査
- ▷ 第二部 企業活動と経済・財政動向からみる復興
- ▷ 第三部 産業・社会活動にみる復興ステージの現状と課題
- ▷ 第四部 新産業創出への試み

## 地域発イノベーション調査研究プロジェクト

東北地域産業の活性化には、イノベーションを実現する挑戦者(イノベーター)の存在が不可欠です。彼らこそが行き詰まりを見せており、経済の仕組みや政策を変え、再活性化の担い手となります。しかし東北地方にはこのような挑戦も、その担い手も少ないとと言われてきました。それは本当でしょうか。

本プロジェクトでは、(公財)東北活性化研究センターとともに、東北地方の挑戦者たちによってなされたすぐれたイノベーション事例を発掘し、どのようなプロジェクトがいかに始まったのか、挑戦者たちがそのプロセスでどのような困難に直面しどう乗り越えたのかなど、イノベーションの軌跡を明らかにすることに取り組んでいます。

### 書籍

調査研究の成果を書籍として刊行し、イノベーションへの挑戦意欲の高揚に資しています。



第1巻

### 地域発イノベーションⅠ 東北からの挑戦

河北新報出版センター(2012年3月)

第2巻

### 地域発イノベーションⅡ 東北企業の資源発掘・展開・発展

河北新報出版センター(2013年3月)

第3巻

### 地域発イノベーションⅢ 震災からの復興・東北の底力

河北新報出版センター(2014年2月)

#### 【内容】

株式会社 アップルファーム(六丁目農園)	障がい者の戦略的雇用から始まる地域復興
桃浦かき生産者合同会社および株式会社 仙台水産	水産業復興特区の活用によるかき養殖の復興
小野食品 株式会社	逆境としなやかな事業転換
ヤマニ醤油 株式会社	新たな醤油製造販売ビジネスモデルへの挑戦による復興
株式会社 橋本道路	地域の地域による地域のための「東松島方式震災がれき処理」
有限会社 オイカワデニム	震災を機に、地域資源を活用した地域発展の牽引者へ
株式会社 高橋工業	造船業から建築業へ、海から陸へのエコリューション
株式会社 フミン	世界の窓にクールコーティング革命を
会津東山温泉向瀧	風評被害を乗り越えた老舗旅館の静かなイノベーション
株式会社 高田自動車学校	企業イノベーションからソーシャルイノベーションへ
一般社団法人 ISHINOMAKI2.0	専門家集団が牽引する地域デザイン・イノベーション

III  
地域発イノベーション  
震災からの復興・東北の底力

地域発イノベーション  
研究プロジェクト  
実施  
東北大学  
河野新報出版センター  
公財  
東北活性化研究センター

河北新報出版センター

2013年度の成果発表

## Innovation Café 地域発イノベーション・カフェ 震災からの復興・東北の底力

日時:2014年2月28日(金)18:00~20:00(懇親会20:00~21:00)

場所:東北大学片平キャンパス エクステンション教育研究棟

主催:地域イノベーション研究センター、公益財団法人東北活性化研究センター

イノベーション・カフェでは、2013年度の活動成果である11事例を紹介するとともに、「東北企業の復興を支えたものは何か」「逆境をいかにチャンスに変えるのか」「東北の底力とは」などのテーマで参加者の皆様とワークショップを実施し、「東北地域からいかにイノベーションをおこすか」について活発な議論を展開しました。



### Program

#### 基調講演

「東日本大震災からの復興(事業転換への挑戦)」  
小野食品株式会社 代表取締役 小野 昭男 氏

#### ワークショップ

テーマ:「東北企業の復活を支えたものは何か」など  
コーディネータ:「地域発イノベーションⅢ」執筆者



## 地域中小企業景況調査

宮城県中小企業家同友会が会員企業を対象に行うアンケート調査に協力しています。年2回、会員企業の現在の経営状況および3ヶ月後の経営状況の予測について調査を行い、報告書を作成します。また、毎回の調査では、時期に合った特別テーマが設定され、地域中小企業の取り組みの現状と課題についても調査が行われます。

### これまでの特別テーマ

上半期	下半期
2005年 会社の経営で問題となっていること	2005年 会社の経営上の主要な取り組みの状況
2006年 経営者として向上させたい能力	2006年 障害者雇用
2007年 後継者問題	2007年 経営指針の作成および運営
2008年 原油・石油製品価格上昇の影響	2008年 昨今の経済情勢の自社への影響
2009年 今後の景気回復の見通し	2009年 自社の雇用情勢
2010年 資金繰り・資金調達	2010年 人材育成
2011年 東日本大震災の影響	2011年 東日本大震災の影響(震災後9ヶ月を経過して)
2012年 東日本大震災後の雇用状況	2012年 事業化支援機関の活用状況
2013年 過去3ヵ年の正社員の定着率	



## 地域イノベーションプロデューサー塾

地域イノベーションプロデューサー塾(以下、RIPS)は、地域企業、特に中小企業の経営人材を対象に、革新的なイノベーションによる新事業開発を促進し、地域における新たな雇用機会の創出と産業振興に貢献できる革新的プロデューサーを育成する事業です。RIPSは、地域の経営人材が未来を創るイノベーションに挑戦して魅力的な事業プランを開発し、構想力と実行力を支える知力・スキル・マインドを学習するための場を提供するとともに、卒塾後の事業プランの実現プロセスを支援していきます。

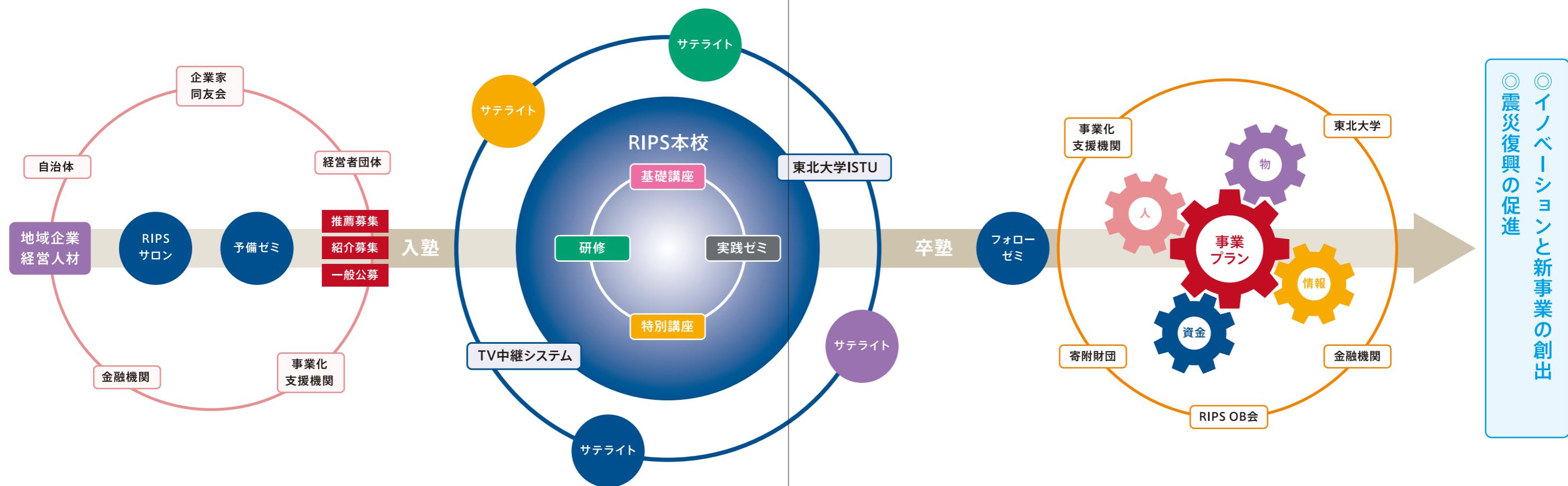
RIPSの最も重要な特徴は、体系的なカリキュラムと支援体制をもって新事業開発、プロデューサー育成および事業化段階の支援を一体的に行うことです。RIPSは、地域発展のための新しいモデルとして構想されたもので、まず東北地域においてその実効性を検証し、将来的には日本の他の地域にも普及していくことが期待されています。

**育成する人材像**

- ・イノベーションへの強い挑戦意欲をもち、すぐれた新事業をプロデュースできる人材
- ・新事業の創出を支える、自社のマネジメント・システムを構築できる人材

### カリキュラムの構成

区分	内容
基礎講座	新事業のデザインに必要となる基本的な知識として、イノベーションの基本、ビジネスデザインの原理と方法、デザイン思考、マーケティング、知財と法務などを学習し、それを組織として支えるための人材・組織マネジメント、業務改善などについて学習します。
特別講座	毎回特定のテーマを設定し、基礎講座の内容とも連動させながら、中小企業が新事業をデザインし成功させていくためにもつべき重要な知識や視点として、需要分析と集客のデザイン、ブランド戦略、海外進出などについて、成功事例を中心学習します。
研修	従来とは異なる革新的な取り組みを実現するためには、事業運営に必要な知識だけでなく、実際に組織や関係者に影響力を発揮するための事業家マインドや高度な対人関係スキル、複眼思考スキルなどが要求されます。研修では、グループでの演習などを通じてこうしたマインドやスキルを習得します。
実践ゼミ	塾生自身の事業アイディアをベースに、「イノベーションを可能にするビジネス設計書の完成」を目指します。実業で活用されている事業設計工程に基づき、演習を中心としたスタイルで、毎回、ビジネス部品をひとつひとつ構築し、最終的に、卒塾後に執行可能なレベルの事業プランを組み立てます。



### 塾生開拓

- サロン** 入塾者開拓および入塾意欲の高揚
- 予備ゼミ** 入塾候補者の事業構想のプラッシュアップ
- 入塾者募集** 多様な募集方法: 推薦募集、紹介募集、一般公募  
※推薦と紹介は本塾認定の機関に限る

### 地域イノベーションプロデューサー塾

- カリキュラム** プロデューサー育成と事業プラン開発の同時達成  
理論・発想・演習・実践の融合教育  
塾生の自主的な能力の養成を重視
- TV中継システム** 本校とサテライトとのリアルタイム映像授業
- 東北大ISTU** 東北大インターネットスクールによる  
欠席対策および復習支援

### 事業化支援

- フォローゼミ** 卒塾者の事業化支援およびフォローアップ  
重点支援、認定支援、一般支援
- 産学官連携** 産学官連携体制による事業化支援の強化
- RIPS OB会** イノベーション・プロデューサー・ネットワークの構築  
地域経済活性化の牽引

## みやぎ県民大学開放講座

本事業は宮城県からの委託を受けて実施する一般市民を対象とした開放講座です。当センターでは、地域中小企業のイノベーション能力を向上させることに焦点をおき、これまで「地域企業イノベーションの切り口」、「地域企業の飛躍を考える40の質問」、「管理者の役割とリーダーシップ」、「東日本大震災からの復興：現状と課題」などをテーマにして公開講座を実施してきました。

### 《2014年度予定》 「デザイン発想からのイノベーション」

これまでの技術発想またはマーケティング発想とは異なる「デザイン発想」から新しい製品／サービスや事業の創出、イノベーション戦略および企業経営のあり方について、講義とワークショップを通じて学習します。

**講師**  
東北大学大学院経済学研究科 教授  
地域イノベーション研究センター 総括プロデューサー  
権 奇哲

第1回	9月5日(金) 18:30~20:30	生活世界とデザイン
第2回	9月12日(金) 18:30~20:30	イノベーション戦略と経験デザイン
第3回	9月19日(金) 18:30~20:30	経験デザイン・ワークショップI
第4回	9月26日(金) 18:30~20:30	経験デザイン・ワークショップII



## 関西起業塾

本事業は、東日本大震災からの復興を支援したいという関西経済連合会の提案を受けて共同企画した公開講座です。2013年度には全国的にも有名な関西の経営者3人が東北の若手経営人材と学生たちに企業づくり・新事業づくりのヒントを熱く語りました。東北地域の再生は、より多くの中小企業が創出するイノベーションによる経済活性化と雇用創出が大きな鍵を握ります。このためには多くの地域企業が大局的な環境認識のもとで事業創造・技術開発・人材育成の堅実な仕組みをつくり、旺盛な起業家精神をもって新たな事業にチャレンジすることが不可欠です。「関西起業塾」はそのための強い意欲と豊かな智恵を得る機会となります。

《2014年度予定》9月以降に3回の公開講座を実施する予定です。



### 国内での活動

#### 東北大大学イノベーションフェア 2014

2014年1月28日に開催された「東北大大学イノベーションフェア2014」の特別展示「東北大大学復興アクション-8つのプロジェクト-」にて、「地域産業復興支援プロジェクト『震災復興に向けた東北地域産業の調査研究と革新的プロデューサーの育成』」のブース出展を行いました。当日は、地域内外の企業関係者、研究者等が多数訪れました。



#### 東北大大学災害復興新生研究機構 シンポジウム ~「東北復興・日本新生の先導」を目指して~

2014年3月9日に開催された「東北大大学災害復興新生研究機構シンポジウム～「東北復興・日本新生の先導」を目指して～」において、東北大大学全体として取り組んでいる8つの重点プロジェクトの1つである「地域産業復興支援プロジェクト」の活動内容を藤本センター長が紹介しました。



### 海外向けの情報発信

#### 東日本大震災二周年国際シンポジウム(韓国・ソウル)

ソウル大学日本研究所が「復興と危機：終わっていない東日本大震災」を主題として開催した「東日本大震災二周年国際シンポジウム」に参加し、招待講演「東北復興の起りうる未来：シナリオ・プランニングによる展望と評価」を行いました。

開催日:2013年3月11日  
場 所:ソウル大学国際大学院



#### 東日本再生ビジョン展(フランス・リヨン)

フランス・リヨン市で開催された東日本大震災に関する展示企画に対して、本学アカイブプロジェクト・みちのく震録伝および河北新報社の協力を得て情報提供を行いました。また、現地において本学の復興への取り組みや被災地の現状についてのプレゼンテーションとパネル展示を実施しました。

開催日:2013年3月12日～23日  
場 所:リヨン市庁舎、リヨン第3区役所



#### ジャパンーズ・ウイーク 神戸大学シンポジウム(ベルギー・ブリュッセル)

本学と災害科学分野において連携協力協定を締結している神戸大学がベルギー・ブリュッセルにおけるジャパンーズ・ウイークの一環として開催する東日本大震災2周年シンポジウムに出席し、本学の復興への取り組みについてプレゼンテーションを行いました。共に震災被災地の中心に立地する総合大学として連携しながら、海外機関においても積極的な情報発信を行っています。

開催日:2013年3月13日  
場 所:欧州経済社会評議会



#### 国際交流基金ロンドン日本文化 センター・セミナー(イギリス・ロンドン)

「神戸から東北へ～震災復興における大学の役割～」  
被災地の大学が復興において果たしてきた役割について神戸大学と東北大大学から報告を行いました。



開催日:2013年11月13日  
場 所:国際交流基金ロンドン日本文化センター

#### JILPT/ADAPT共催国際セミナー (仙台)

「自然および環境災害の労働市場への影響」  
イタリア・イギリス・ニュージーランドと日本の労働分野の研究者によるセミナーにおいて、地域産業復興調査研究プロジェクトに基づく報告を行いました。



開催日:2013年11月22日  
場 所:東北大大学